～　学習講演会　～

食料危機と生き残りをかけた日本農業の方向性

日 時: **３月１８日（月）**
10:00～11:20

会 場: **アイーナ 5 階「501 会議室」**
（盛岡市盛岡駅西通１丁目７－１）

講 師 : **柴田　明夫** さん
（資源・食糧問題研究所　代表）

参加無料

※11:20～11:45 いわて食・農ネットの総会を行います

とどまることのない物価高騰。日々の食生活も、農家の経営も、危機に瀕しています。

食料危機をいちはやく指摘し柴田明夫さんは「食料を武器にするロシア、買い占めと備蓄に力を入れる中国…日本は備蓄と生産強化を！」と提言します。

安心して食べ・つくりつづけられる食と農についてご一緒に学び考えましょう。

＜講師プロフィール＞

柴田 明夫　（しばた あきお）

・1951 年生まれ。
・1976 年、丸紅株式会社に入社。丸紅経済研究所所長，代表を経て、2011 年 10 月に株式会社資源・食糧問題研究所を開設
・著書 :『飢餓国家ニッポン―食料自給率 40%で生き残れるのか』（角川 SS コミュニケーションズ),『資源争奪戦 最新レポート 2030 年の危機』(かんき出版),『生きるためにいちばん大切な「食」の話』　（講談社）など

■参加予約は不要です。受付でご連絡先を含めた記名にご協力ください。

主催：いわて食・農・地域を守る県民運動ネットワーク（いわて食・農ネット）
（滝沢市土沢２２０－３　岩手県生協連　内　電話 019-684-2225　Ｆａｘ019-684-2227）